

殻にこもるな30歳! 努力は必ず報われる!

YELL! 40歳からのメッセージ

**独立心もなかった私が
起業で成功。人脈は
「作る」ものではなく、
「できる」ものなんです。**

株式会社カスタネット 代表取締役社長 **植木 力**さん

1958年生まれの46歳。39歳で大日本スクリーン製造株式会社の課長ポストを捨てて、社内ベンチャー第1号として起業。「顔の見える」オフィス用品通販会社として大手に真っ向勝負を挑み、中古文具を途上国の子どもたちに定期的に寄贈するなどソーシャルベンチャーとしても注目の経営者。



実は私は強い独立願望などではなく、自分でも未だになぜ起業したのかわからないのです(笑)。ただ人の作った道を守るのではなく、自分でトンネルを掘ったりするのが好きな性格で、スクリーン在職中も常に次に何が求められるのかを探していました。

20代の工場の資材購買担当のときは、ひとたびトイレに席を立つという人々に話しかけて、なかなか自席に戻らない同僚泣かせ。実はその雑談の中から「次に何が必要とされるのか?」を探って先々を読んだ購買を心がけて、結果的に業務量は通常の3倍にまでなっていたのです。ただ、上にはサボっているように見えて査定点は悪く、仕事をボイコットしたりもしていました(笑)。

30代になって全社のネットワーク構築を担当したときは、現場スタッフで業務改善チームを作って、小さな工夫や改善を積み重ねて1年を過ごします。そして、数千万円のシステム投資を提案すると、普段はあまり話もしない部長は、書類の中身もほとんど見ずに決裁してくれました。地道な活動を見てくれたのですね。また、社内に関心が多く、取材者探しなどで広報部をよく手伝っていました。

そして、39歳で起業したときには本当に多くの方々が応援してくれました。幹部の方々はまだ若い私に夢を託して、後輩たちは兄貴的な年齢の私に期待してくれたのでしょう。知り合いの経営者を軒並み紹介してくださる方や自ら契約まで決めてくださる方…。広報の方はマスコミ戦略などを熱心に教えてくださる。そんなこともあって、創業時から顧客開拓はどんどん進み、仕入や納品体制に飛び回るうれしい悲鳴を上げて、3年目で黒字化もできたのです。

努力は必ず身についています。そして、人脈というものは「作る」ものではなく、「できる」ものなのだ、と強く確信したのです。